



1980年代の初め、その後のハリウッドを担うと世界中の誰もが期待を寄せていたマイケル・チミノの最新作『天国の門』が、過剰な制作費の超過と公開後の不評、不入りのために、チャップリンやグリフィスが創設した歴史あるハリウッドの映画会社ユニテッドアーティストズを消滅させるという事件が起こった。その後の映画を背負って立つはずの者の手による映画の破滅というこの事件は、まさに映画の時代の終わりを象徴する出来事として、世界中の映画ファンたちに記憶されることになった。それから30年、チミノの映画作りは不遇のまま、96年以来15年以上も新作長編が作られることがない。その一方で、既にオリジナル・ネガさえ散逸した『天国の門』が、デジタル修復により蘇ることになる。デジタル・シネマによる旧来の映画の終わりが話題を呼ぶ今、「映画」を滅ぼすはずのデジタル技術により、かつて映画の復活を願う世界中の期待を背負って作られた『天国の門』が復活したのである。

1950年代以降、ことあるたびにその終わりが囁かれる映画は、常に姿を変えつつ新たな「映画」として、蘇り続けているようにも思う。だとしたら30年ぶりに蘇ったかつての映画の新たな姿をチミノの記憶とともに今ここで観ることは、私たちの現在の映画への視線をまた更に大きく変容させてくれるはずだ。チミノの映画の持つ大きさや繊細さは、時間と空間の掛け替えの無さを実感させてくれるとともに、常に終わり続ける映画と始まり続ける何かとを、過剰な時間と空間の感覚として、つまり、増幅された時間と空間というまさに「爆音的な」感覚として、私たちの身体に届けてくれるからだ。「かつてこんな映画が作られていたのだ!」という過去への思いがそのまま反転して、未来へと広がる巨大な風景を作り上げる。私たちの先にはこんな風景が開けているのだ。そんな思いとともに、今年の爆音映画祭を迎えたいと思う。

特集 マイケル・チミノ



天国の門 デジタル修復完全版
1981年|アメリカ|216分|DCP 提供:boid 原題:HEAVEN'S GATE 監督:マイケル・チミノ/出演:クリス・クリストファーソン、クリストファー・ウォーケン、ジョン・ハート、イザベル・ユペール
西部開拓時代の悲劇を描く一大叙事詩が、数十年の時を経てデジタル修復され、再びスクリーンに甦る。制作会社を破産に追い込んだことから知られるように、すべてが今では考えられないほど壮大。戦争シーンの狂気じみた容赦のなきには背筋が震えることだろう。

サンダーボルト
1974年|アメリカ|115分|35mm 提供:boid 原題:THUNDERBOLT AND LIGHTFOOT 監督:マイケル・チミノ/出演:クリストファー・ウォーケン、ジョン・サケティ、ジェフリー・リス
2人のチンピラが繰り広げる、ちょっと物悲しい犯罪珍道中。ことあることに乗り換えるさまざまな種類の車が、砂塵を巻き上げながら疾走する。そのそれぞれ異なるエンジンとブレーキの高鳴りだけで、1本の映画を撮ろうとしたかのようなあっけなきが気持ちいい。

ディア・ハンター PG12
1978年|アメリカ|184分|35mm 提供:boid 原題:THE DEER HUNTER 監督:マイケル・チミノ/出演:ロバート・デュニロ、クリストファー・ウォーケン、ジョン・サケティ、メリル・ストリープ
あの日、死ぬはずだったのに生きてしまった男は、生と死の間に今も佇みあぐさる。その時、映画史上もっとも悲しい銃声が響く……。ベトナム戦争に翻弄された男たちの悲惨な末路。

逃亡者
1990年|アメリカ|105分|35mm 提供:boid 原題:DESPERATE HOURS 監督:マイケル・チミノ/出演:ミックキー・ローク、アンソニー・ホプキンス、ミミ・ロジャース
半獄から脱走した破格の頭脳を持つ男と、彼の人質となった一家の手に汗握る心理戦。ごく普通の一軒家から、こんなにも多くの表情を切り取ってみせるあたりにチミノの職人技が光る。それにしても、全編にみみぎること無償のエロさはなんなのだろうか……?

5月31日 金 19:00 | 6月1日 土 18:50 | 6月7日 金 14:00 | 6月1日 土 13:15 | 6月4日 火 11:20 | 6月2日 日 12:00 | 6月4日 火 14:55

『天国の門』デジタル修復完全版、10月5日 日 より、シネマート新宿にてロードショー

『アンナと過ごした4日間』、『ゴモラ』、『アンダーグラウンド』 Blu-ray & DVD 絶賛発売中!



※『アンダーグラウンド』はDVD-BOXも発売中。発売元:紀伊國屋書店 www.eiganokuni.com

毛利悠子 BAKUON 個展

今年の爆音映画祭は映画やライブだけではなく、個展もやります。記念すべき初の「BAKUON 個展」は毛利悠子が登場。彼女の大胆なセンスが爆音をどのようにとらえるか。会場はハウスシアター1階の「Lido Cafe」。爆音鑑賞の前に、後に、是非覗いてみてください。 入場無料/10:30~21:00

【写真】個展「おるち」(2013) ガラリー waitingroom 撮影:前澤秀登

後夜祭オールナイト 6/8 日 23:00~ 「こんなアメリカはいやだ!」

毎年恒例の後夜祭オールナイト。今年のラインナップは『ナチュラル・ボーン・キラーズ』『ウィンターズ・ボーン』『悪魔のいけにえ2』。ご覧になった方はお分りでしょう。もう、血塗れのアメリカ。しかもそれゆえだからこそ愛おしくなってしまうようなアメリカがそこにあります。もういやだ、なんだけれども、この残酷さや過酷さから生まれてくる夢や希望や煌めきを、世界中が愛している。だからこそアメリカの音楽も映画も世界に広まる。そんなアメリカの血塗れでそれゆえ豊かで濃密な空気をたっぴりと爆音で、朝になるまで吸い込んでください。この日の休憩時間の音楽は、ローレン・マザケイン・コナーズとジョン・フェイビーとナンシー・シナトラで決まります。

第6回 爆音映画祭2013 上映スケジュール

●予告なし・本編より ●35ミリプリントの作品は、素材により画と音が必ずしも良好でない場合がありますのでご了承ください。

6/1 (土)	2 (日)	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)
千年女優 11:20~ 終 12:45	逃亡者 12:00~ 終 13:45	先祖になる 11:15~ 終 13:15	ディア・ハンター 11:20~ 終 14:25	わたしたちの宣戦布告 11:50~ 終 13:30	ウィンターズ・ボーン 12:00~ 終 13:40	4:44 地球最期の日 12:00~ 終 13:25
ディア・ハンター 13:15~ 終 16:20	ヴァージニア 14:25~ 終 15:55	わたしたちの宣戦布告 13:45~ 終 15:25	逃亡者 14:55~ 終 16:40	ゴダールのリア王 14:00~ 終 15:30	スキャナーズ 14:10~ 終 15:55	サンダーボルト 14:00~ 終 15:55
ゴダールのリア王 16:50~ 終 18:20	悪魔のいけにえ2 16:25~ 終 18:05	ビーツ、ライムズ・アンド・ライフ 15:55~ 終 17:30	千年女優 17:10~ 終 18:35	Playback 16:00~ 終 17:50	キャリアー 16:25~ 終 18:05	カリフォルニア・ドールズ 16:25~ 終 18:20
サンダーボルト 18:50~ 終 20:45	ナチュラル・ボーン・キラーズ 18:30~ 終 20:30	ヴァージニア 18:00~ 終 19:30	4:44 地球最期の日 19:05~ 終 20:30	フルスタリョフ、車を! 18:20~ 終 20:40	動くル・テルニエ・クリ(仮) 18:40~ 終 20:40	スキャナーズ 18:50~ 終 20:30
キャリアー 21:10~ 終 22:50	We Can't Go Home Again 21:00~ 終 22:35	山本精一 無声映画ライブ 吸血鬼ノスフェラトゥ 21:10~ 終 22:20	ビーツ、ライムズ・アンド・ライフ 21:00~ 終 22:35	湖畔の2年間 21:10~ 終 22:35	ラルジャン 21:10~ 終 22:35	デーモンラヴァー 21:00~ 終 23:00

8 (土)

後夜祭オールナイト
~こんなアメリカはいやだ!~
ナチュラル・ボーン・キラーズ / ウィンターズ・ボーン / 悪魔のいけにえ2
23:00~ 終 4:50

【前売券ネット販売のご案内】

- 今年からboid.net販売にて前売券をご購入いただけます。
- ご購入の際、手数料は発生しないばかりか、会員になられた方は1割引に。
- 実券の発送はなく、ネットでのご購入後、映画祭期間中にハウスシアター1F Lido Cafeにて受付をしていただきます。
- 受付にてご本人確認後、入場整理券をお渡しいたします。
- 上映時間直前などは混雑する可能性があります。受付にはある程度時間の余裕をもってお越しください。

6/1 (土)	2 (日)	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)
マーメイドフィルム presents 強烈で最高なシネマの日	アナログはかーかー代 12時間スペシャル	TRASH-UP!! presents グラインドハウスの逆襲 day1	TRASH-UP!! presents グラインドハウスの逆襲 day2	TRASH-UP!! presents グラインドハウスの逆襲 day3	boid スペシャル 「Nothing for Good」	土居伸彰 presents アニメーション・スーパー・ヒューマン・デー
マリア・ブラウンの結婚 13:00~	Vol.1 11:00~	食人族 11:30~	怒りの荒野 11:00~	お楽しみ	空族スペシャル 12:30~	ザ・クリスティーズ 12:00~
アンナと過ごした4日間 15:30~	Vol.2 14:00~	情無用のジャング 13:25~	お楽しみ	デモンズ2 13:30~	やくたたず 15:10~	さよならミスター・クリスティエー 14:00~
ゴモラ 17:30~	Vol.3 17:00~	デモンズ 15:40~	ハロウィン 15:20~	ミラージュ 15:20~	梅本洋一関連作品上映1 ゲスト:富永昌敬 16:40~	死亡以上埋葬未満 16:00~
アンダーグラウンド 20:00~	Vol.4 20:00~	死霊のしたたり 17:30~	アイドルライブ 出演: BELLRING 少女ハート、Starmarie、さっちゃん、CYBORG KAORI 他 19:30~	続・荒野の用心棒 17:10~	梅本洋一関連作品上映2 18:40~	日英若手作家作品一挙上映 18:00~
		マカブル 永遠の血族 19:15~		BUSHIDO MAN: ブシドーマン 19:15~	篠崎誠による黒沢清 20:45~	モンスターロード 19:40~
		サスペリア2 劇場公開版 21:10~				ビックフォード傑作選 21:10~

	料 金	販売期間	販売枚数	販売場所
前売券 ※日時指定 ※整理番号付き	シアター1 一般上映枠 天国の門	1,300円	5/9 (木)~ 5/29 (水)	ネット受付▶ http://boid.ocnk.net/ 店舗での販売▶ ハウスシアター ディスクユニオン ※販売店舗はHPでお知らせします
	先祖になる	2,000円		
	山本精一 無声映画ライブ	1,500円		
	シアター2 アイドルライブ	2,500円		
	後夜祭オールナイト	2,500円		
回数券	3回券 (一般上映枠に使用可能)	3,500円	映画祭期間中 (前売販売なし)	制限なし ハウスシアター
	アナログはかーかー代1日券	5,000円		
	シアター1 一般上映枠	1,300円 (1,000円)	前売券の販売状況により異なる ※5/30(日)にHPにて当日券販売枚数を発表します	ハウスシアター
	シアター2 一般上映枠	1,000円		
	天国の門	2,000円 (1,500円)		
先祖になる	1,500円 (1,000円)			
アナログはかーかー代(1コマ)	1,500円 (1,000円)			
当日券 ※カッコン内はハウス会員価格	山本精一 無声映画ライブ	2,500円 (2,000円)		
	シアター2 アイドルライブ	2,500円 (2,000円)		
	後夜祭オールナイト	2,500円 (2,000円)		

●3回券・当日券の整理番号は、連日10:30より(6/8日のみ19:00より)、当日分を受付・発行致します。

●特別興行のため、曜日割引、映画サービスほか、各種割引サービスは適用外となります。

●開場時には必ず劇場までお越しください。開場時間を過ぎますと整理番号が無効となり、お立ち見となる可能性もあります。予めご了承ください。

●シアター2の一般上映枠は、前売券はございません。オトクな割引サービス実施予定あり。詳細は公式HPで告知致します。

シアター1 5/31 (金) 天国の門 19:00~ 終 22:45



第6回 爆音映画祭

特集 「天国の門」とマイケル・チミノ

映画の始まり、映画の終わり、映画の始まり

5.31 FRI 6.8 SAT 1週間限定

会場: 吉祥寺ハウスシアター

主催: 爆音映画祭実行委員会 後援: 武蔵野市 企画・制作: boid, 吉祥寺ハウスシアター

https://www.bakuon-bb.net @boid_bakuon http://www.facebook.com/bakuonfilmfes

チェーンソー

映画とはチェーンソーである。回転する歯車によってすべてが始まり、道が開ける。カメラ＝チェーンソー＝映写機。だからチェーンソーの音をどうとらえるか、どんなふうにも聴かせるかは、その映画の立場を明らかにする。そんな視点から映画を観るとどんなふうにもその映画は見えてくるか？ 今回の3本からはおそらく、映画が歩んできたひとつの太い道筋が浮かび上がってくるはずだ。



悪魔のいけにえ2
1986年|アメリカ|100分|35mm 提供：生駒隆始 原題：THE TEXAS CHAINSAW MASSACRE PART 2
監督：トビー・フーパー/音楽：トビー・フーパー、ジェリー・ランバート/出演：デニス・ホッパー、キャロライン・ウィリアムズ、ビル・ジョンソン
チェーンソー、ジェットコースター、ロッキンロール……本作に類出するこれらは、回転することで生命を宿するという意味ですべて映画の比喩だ。違うのは速度と必ず絶叫がつかまるところ。この世界最速の絶叫映画は、爆音でこそそのポテンシャルを全開させる。
6月2日 日 16:25 | 6月8日 日 14:10



ウィンターズ・ボーン PG12
2010年|アメリカ|100分|35mm 提供：プロードメディア・スタジオ 原題：WINTER'S BONE
監督：デブラ・グラニック/出演：ジェニファー・ロレンス、ホークス、ケヴィン・プレズナハン
寂れた地方小都市で、失踪した父を少女が探し歩く。その行く手を阻む、狂気と諦念に満ちた大人たちの表情は壮絶だ。大人たちに促され、涙ながらも少女が握ったチェーンソーの音は、まるでローレン・マザケイン・コナーズの奏でるギターのように背骨を切り裂く。
6月6日 日 12:00 | 6月8日 日 14:10



先祖になる
2012年|日本|118分|DCP 提供：運ユニバース 製作：権洋子/監音：池谷浩/撮影：福居正治、坂口勇太、金子英樹/音楽：渡辺丈彦/出演：佐藤直志
先の大震災で息子と自宅を失った佐藤直志(77歳)が、そんな状況にもめわった時間旅行。いくつもの時間が訪れて、寄せては返す波のように、ちよつとずつ変化しながら反復する時空の上を男がスケボーで滑走するとき、誰もがこれは日本初の「丘サーフィン映画」なのだ確信するだろう。
6月3日 日 11:15



Playback
2012年|日本|113分|35mm 提供：PIGDOM 監督：三宅唱/主題歌：大橋トリオ/出演：村上淳、浜川清彦、三浦誠也、菅田俊、渡辺真起子
40歳を手前にして、人生に行き詰まりを感じる俳優の男が体験する一風変わった時間旅行。いくつもの時間が訪れて、寄せては返す波のように、ちよつとずつ変化しながら反復する時空の上を男がスケボーで滑走するとき、誰もがこれは日本初の「丘サーフィン映画」なのだ確信するだろう。
6月5日 日 16:00



湖畔の2年間
2011年|イギリス|86分|DCP 原題：Two Years at Sea
監督：ベン・リヴァース
湖畔の森で暮らす初老の男の生活を静謐に綴る。しかし、その様子は粗い白黒フィルムの粒子の不気味な蠢きへと微分されてしまう。ベッドにうすくまると男はまるで大地に散った粉雪のよう。黒い影になり消えていく『回路』の死に様に匹敵する禍々しきで、存在と非在のあわいを揺らめく。
6月5日 日 21:10



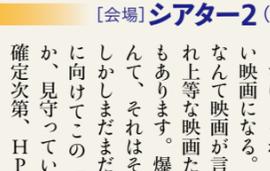
千年女優
2001年|日本|87分|35mm 提供：クロックワークス
監督：今敏/音楽：平沢進/声の出演：荻原美代子、小山茉美、折笠富美子
かつて一世を風靡した女優が語る半生。それは彼女が出演した映画の世界と混じり合い、やがて日本史を貫く一途な愛が浮かび上がる。そんな途方もない物語を彩る、往年の映画音楽を現代にアップグレードしたような平沢進の音楽が心地よい感動へと見る者を誘う。
6月1日 日 11:20 | 6月4日 日 17:10



スキャナーズ [リストア版] R15+
1981年|カナダ|103分|BD 提供：コムストック・グループ 原題：SCANNERS
監督：デヴィッド・クロネンバーグ/出演：ステイヴン・ラック、ジェニファー・オーニール
超能力者たちの死闘を描き、80年代以降のSF映画に多大な影響を与えたクロネンバーグの出世作。見どころは何と言っても顔面爆破。しかし、そこに至るまでのアンビエントなドローン音と鋭利なストリングスによる厭らしいほどのジラシのテクニクこそ、クロネンバーグの真骨頂かもしれない。
6月6日 日 14:10 | 6月7日 日 18:50



マーメイドフィルム presents 強烈で最高なシネマの日
マーメイドフィルム配給作品の中から、メイン会場からの爆音の音がバウス2に漏れても全然大丈夫な強烈で最高な作品4本を上映！R・W・ファスビンダー監督作『マリア・ブラウンの結婚』を35ミリのニュープリントで。オープニングの爆撃音はもしかしたらメイン会場に響いてしまうかも。スコリモフスキ監督作『アンナと過去の4日間』。森の中でいろんな音が混じり合う。爆音会場の「チェーンソー特集」にも入りたいくらいチェーンソーの使い方も注目。そしてイタリアのマフィア「カモッラ」を描いた『ゴモラ』。銃撃のシーンは爆音でも聞きたいくらい気持ちがいい。そして昨年の爆音上映も大評判となった『アンダーグラウンド』。これには何の説明も要らないでしょう！ドイツ、ポーランド、イタリア、ユーゴスラヴィアを映画で旅する一日となります。 ※共同配給：紀伊国屋書店
6月1日 日



boid スペシャル「Nothing for Good」
何を観ることもなく何を聴くこともなくひたすらぼんやりとその場においてスクリーンを見つめている。映画を観るとはそんな行為なのではないかと思っではない、あなたの言うのを聞きたい訳ではない、あなたの見せたいものを観たい訳ではない。私がそこにおいてそこに映った何か気がつくとか何か別のものに変わり私の前に立ち現れる。ただその瞬間を待ち続け、その瞬間を永遠へと一気に変えるためにまるで眠ったようにスクリーンを見つめる。そんな観る側の不遜な態度に付き合ってくれる懐深い映画たち。空族の相澤虎之助『バビロン』2作品と空族次回作のための長い予告編『ラップ・イン・トンド』、それから**富永昌敬**作品はすべて梅本洋一追悼として。さらに梅本発案による**横浜国大紹介ビデオ**を。そして爆音会場で『Playback』上映の三宅唱による奇跡の映画『やくたらず』。その他あつと驚く作品が控えています。詳細はHP及び追加チラシにて。 ※協力：横浜国立大学
6月6日 日



TRASH-UP!! presents グラインドハウスの逆襲!!! 3Days
地獄の底に葬られた映画館グラインドハウスが、パワアップして復活です。ホラー、アクション、マカロニ・ウェスタン……。ジャンルや国境を超えた、本当に面白い映画、いや永遠に語り継がれるパワフルな映画を描きました。説明不要の名作以外にも、ホラーと西部劇をミックスしたゲテモノ・マカロニ・ウェスタン『情無用のジャンゴ』や、インドネシア・ホラーが放つ大傑作『マカブル 永遠の血族』に戦慄し、関東初上映となる日本が世界に自信を持って発信するインディーズ・アクション映画『BUSHIDO MAN: ブシドーマン』に興奮して下さい。さらに人気絶頂のアイドルが映画館に大集合!! 白熱のアイドル・オン・ステージも開催! ※協力：CALF
6月3日 日～5日 日

一般上映 [会場]シアター1 (220席)



ゴダールのリア王
1987年|アメリカ|91分|35mm 提供：boid 原題：KING LEAR
監督：ジャン・リュック・ゴダール/出演：ピーター・セラーズ、バージェス・メレディス、モリー・リン・クウォード、ウディ・アレン
シェイクスピア5世が、先祖による『リア王』とそっくりな光景を目撃したことから始まる奇想天外な旅の物語。彼が森の奥で出会う、ゴダール演じるマッドサイエンティストが発明した「映画」の姿は戦慄するしかない。「イマージュは魂の純粋な創造物である」。
6月1日 日 16:50 | 6月5日 日 14:00



Virginia/ヴァージニア
2011年|アメリカ|90分|35mm 提供：カルチュア・パブリッシャーズ 原題：TWIXT
監督：フランシス・フォード・コップラ/出演：ヴァル・キルマー、ブルース・ダーン、エド・ファンニグ/ナレーション：トム・ウェイツ
三文小説家が奇妙な町に迷い込む。時計ごとに示す時間が違うのだから、そこではひとつの空間に複数の時間が流れ込んでいるだろう。だからなのかそくに響く声や物音は、数々の時間の層を作っていく。いつその音は発せられたのか。時間の層を巡る旅が始まる。
6月2日 日 18:30 | 6月8日 日 14:10



ナチュラル・ボーン・キラーズ
1994年|アメリカ|119分|35mm 提供：boid 原題：NATURAL BORN KILLERS
監督：オリヴァー・ストーン/原案：クエンティン・タランティノ/出演：ウディ・ハレルソン、ジュリエット・ルイス
生まれつきの殺人鬼カップルによる血みどろロードムービー。MTV的なここではひとつの空間に複数の時間が流れ込んでいるだろう。だからなのかそこに響く声や物音は、数々の時間の層を作っていく。いつその音は発せられたのか。時間の層を巡る旅が始まる。
6月2日 日 18:30 | 6月8日 日 14:10



We Can't Go Home Again
1973年～2011年|アメリカ|93分|BD 提供：boid 原題：We Can't Go Home Again
製作：監督・脚本・出演：ニコラス・レイ/脚本：スーザン・レイ/出演：トム・ファレル、リチャード・D・レイの最後の長編。大学に招かれたレイが、学生たちと映画をつくる様子と撮影された作品とが、モザイク状にコラージュされる。スクリーンを飛び交う映像と音響の破片は、観るという行為を圧倒的な体験へと変える。万華鏡のような目眩く「教育」映画。
6月15日 日 21:10より、新宿K's cinemaにてロードショー
6月2日 日 21:00



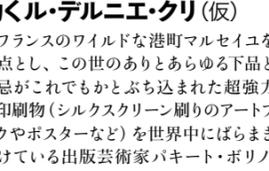
ラルジャン
1983年|フランス、スイス|85分|35mm 提供：紀伊国屋書店、マーメイドフィルム 原題：L'ARGENT
監督：ロベール・ブレッソン/出演：クリスチャン・バティ、カローヌ・ラング
受難劇。世界も、登場人物の表情も、音響も、すべてが渴き切っているという意味では、これほどハードボイルドな映画もないだろう。犬の吠え声ひとつすべてを語ってしまうラストシーンの演出の渴きぶりには唖然とする。音数の少ないこの映画が爆音でいかに変容するのか、楽しみは尽きない。
6月6日 日 21:10



カリフォルニア・ドールズ
1981年|アメリカ|113分|35mm 提供：boid 原題：...ALL THE MARBLES
監督：ロバート・アルドリッチ/出演：ピーター・フォーク、ヴィッキー・フレデリック、ローレン・ランドン、バート・ヤング
女子プロ・タッグ「ドールズ」たちの旅は、生きることの陰りに輝きに満ちている。どこにでもいる誰かが特別な存在となる、そんな輝ける一瞬の永遠がスクリーンを満たす。物語の最後に置かれたルール無視プロレスシーンは圧巻。爆音だけがそのコントロール不能な力を再現可能だ。
6月7日 日 16:25



Le Dernier Cri
1981年|フランス、スイス|85分|35mm 提供：紀伊国屋書店、マーメイドフィルム 原題：L'ARGENT
監督：ロベール・ブレッソン/出演：クリスチャン・バティ、カローヌ・ラング
受難劇。世界も、登場人物の表情も、音響も、すべてが渴き切っているという意味では、これほどハードボイルドな映画もないだろう。犬の吠え声ひとつすべてを語ってしまうラストシーンの演出の渴きぶりには唖然とする。音数の少ないこの映画が爆音でいかに変容するのか、楽しみは尽きない。
6月6日 日 18:40



山本精一 無声映画 LIVE
1958年生まれ。80年代後半よりBoredomsにギタリストとして参加。並行して自身のリーダーバンドである想い出波し場や羅針盤を結成。90年代以降、ROVOをはじめさまざまなバンドやプロジェクトに参加するなど、多彩な音楽フィールドで活動を展開している。
6月3日 日 21:10



ビーツ・タイムズ・アンド・ライフ
1976年|アメリカ|98分|35mm 提供：東宝 原題：CARRIE
監督：ブラザー・タデル/出演：シシー・スパーセック、バイロン・ローリー、ウィリアム・カット、ジョン・トラボルタ
いじめられっ子の少女キャリアが持つしまった超能力が引き起こす血の惨劇。『サイコ』のシャワーシーンから引用された、あの神経を逆撫でする音楽は昔に溢れているが、その終わりをフアウンド・フッテージの切り貼りだけで器の不協和音とキャリアの叫びが重なるとき、少年少女のプロムパーティーへの夢は木っ端微塵に砕かれるだろう。70年代ホラーの代表作の1本。
6月3日 日 15:55 | 6月4日 日 21:00



キャリー R15+
1976年|アメリカ|98分|35mm 提供：東宝 原題：CARRIE
監督：ブラザー・タデル/出演：シシー・スパーセック、バイロン・ローリー、ウィリアム・カット、ジョン・トラボルタ
いじめられっ子の少女キャリアが持つしまった超能力が引き起こす血の惨劇。『サイコ』のシャワーシーンから引用された、あの神経を逆撫でする音楽は昔に溢れているが、その終わりをフアウンド・フッテージの切り貼りだけで器の不協和音とキャリアの叫びが重なるとき、少年少女のプロムパーティーへの夢は木っ端微塵に砕かれるだろう。70年代ホラーの代表作の1本。
6月1日 日 21:10 | 6月6日 日 16:25



4:44 地球最期の日
2011年|アメリカ、スイス、フランス|82分|BD 提供：パンドラ 原題：LA GUERRE EST DECLARÉE
監督：ウレリイ・ドンゼリ/出演：ウレリイ・ドンゼリ、ジェレミー・エルカーム、セザール・ネ、シャニン・コリー、ポール・セップ
地球が終わると知らされた日、人々はなす術もなく待つしかない。そんな話劇。『サイコ』のシャワーシーンから引用された、あの神経を逆撫でする音楽は昔に溢れているが、その終わりをフアウンド・フッテージの切り貼りだけで器の不協和音とキャリアの叫びが重なるとき、少年少女のプロムパーティーへの夢は木っ端微塵に砕かれるだろう。70年代ホラーの代表作の1本。
6月4日 日 19:05 | 6月7日 日 12:00



わたしたちの宣戦布告
2011年|フランス|100分|DCP 提供：アップリンク 原題：LA GUERRE EST DECLARÉE
監督：ウレリイ・ドンゼリ/出演：ウレリイ・ドンゼリ、ジェレミー・エルカーム、セザール・ネ、シャニン・コリー、ポール・セップ
プロメオとジュリエットが出会い、子供を授かる。名前はアダム。本気なのか冗談なのかはわからない。しかし、難病を患うアダムが病院で治療している間、不意をついて疾走するジュリエットはとうとう見ても本気。そこにエレクトロを流してしまうセンスにグッとくる。絶妙な音楽と編集センス。
6月3日 日 13:45 | 6月5日 日 11:50



フルスタリョフ、車を！
1998年|ロシア、フランス|142分|35mm 提供：パンドラ 原題：XPUSTALEB, MAWIHU
監督：アレクセイ・ゲルマン/出演：ユーリー・アレクセーヴィチ・ツツロフ、ニナ・スラーノワ、ミーシャ・デメンティエフ
スターリン政権下のソビエトで、時代に翻弄された脳外科医一家の数奇な運命を描く…のだが、真面目一辺倒な運命を語るには間違った。全編に溢れるあらゆる物音への偏執ぶりは、物語の深刻さを嘲笑うかのようだ。瀕死のスターリンの放屁の音は必聴。
6月5日 日 18:20



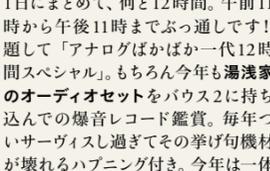
DEMONLOVER デモンラヴァー R18+
2002年|フランス|120分|35mm 提供：東北新社 原題：DEMONLOVER
監督：オリヴィエ・アサイヤス/音楽：ソニック・ユース/出演：コニー・ニールセン、シャルル・ペルラン、クロエ・セヴィニー
産業スパイの女がリアルとヴァーチャルの間隙に墜落する様をスタイリッシュに描く。音楽を手掛けるのはソニック・ユース。物語のカオスのうねりを加速させるダークでノイジーな楽曲はもちろんのこと、彼らが楽器で鳴らしているという雑踏などの環境音も注目。
6月7日 日 21:00



吸血鬼ノスフェラトゥ
1922年|ドイツ|64分|DVD 提供：アイ・ヴィー・シー 原題：NOSFERATU: EINE SYMPHONIE DES GRAUENS
監督：F・W・ムルナウ/出演：マックス・シュレック、アレクサンダー・グラナハ、グスタフ・フォン・ワンゲンハイム
毎年恒例となりつつある、爆音伴奏付き無声映画上映。今回はドラキュラ伝説を材に取ったホラー映画の古典。この美しさと恐ろしさが同居する不死身の怪作に、山本精一がどんな音を付けるのか？ そしてそのとき、映画はどのように見えるのか？ 乞うご期待。
6月3日 日 21:10



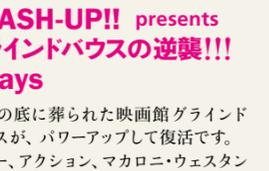
山本精一 無声映画 LIVE
1958年生まれ。80年代後半よりBoredomsにギタリストとして参加。並行して自身のリーダーバンドである想い出波し場や羅針盤を結成。90年代以降、ROVOをはじめさまざまなバンドやプロジェクトに参加するなど、多彩な音楽フィールドで活動を展開している。
6月3日 日 21:10



アナログばかばか一代 12時間スペシャル
昨年までは1日約2時間を数日に分けて開催して来た爆音映画祭記念の「アナログばか一代」ですが、今年は1日にまとめて、何と12時間。午前11時から午後11時までぶっ通しです！題して「アナログばかばか一代12時間スペシャル」。もちろん今年も湯浅家のオーディオセットをバウス2に持ち込んだ爆音レコード鑑賞。毎年ついでにサーヴィス過ぎてその挙げ句機材が壊れるハプニング付き。今年は一体何が壊れるのか??
とはいえ休憩無しでも腹も減るストイックも休まずに、12時間を3時間ずつの4つのブロックに分けます。それぞれに15分くらいの休憩も。したがって正味2時間45分です。東京では1月の湯浅学誕生会以来半年ぶりの開催。今回は思う存分聴きまくります。死ぬまでアナログばかりでいることのできる濃厚なエキスをたっぷり注入します。2度とあり得ないような一日になるはず。一日券購入者には湯浅さんからの特別プレゼントあり。この際もう、丸ごと一日楽しんでみてください。
6月2日 日



TRASH-UP!! presents グラインドハウスの逆襲!!! 3Days
地獄の底に葬られた映画館グラインドハウスが、パワアップして復活です。ホラー、アクション、マカロニ・ウェスタン……。ジャンルや国境を超えた、本当に面白い映画、いや永遠に語り継がれるパワフルな映画を描きました。説明不要の名作以外にも、ホラーと西部劇をミックスしたゲテモノ・マカロニ・ウェスタン『情無用のジャンゴ』や、インドネシア・ホラーが放つ大傑作『マカブル 永遠の血族』に戦慄し、関東初上映となる日本が世界に自信を持って発信するインディーズ・アクション映画『BUSHIDO MAN: ブシドーマン』に興奮して下さい。さらに人気絶頂のアイドルが映画館に大集合!! 白熱のアイドル・オン・ステージも開催! ※協力：CALF
6月3日 日～5日 日



土居伸彰 presents 「アニメーション・スーパーヒーローマン・デー」
やりつづけること…そう、やりつづけること。しつこいくらいに、誰に望まれずとも。なぜならこれこそが、人生でやるべきことなのだから……そういう信念とともに作られた表現は強い。この1日は、新旧インディペンデントアニメーション作家たちの、そんなしつこきに捧げられる。イギリスの巨匠フィル・ムロイによる超ニマルブラックユーモア個人製作長編『クリスティーズ』シリーズ一挙三本上映、一度体験すれば取り憑いて離れない世界観を持つ1日英若手作家6人のほぼ全作上映、フランク・ザッパとのコラボレーションで馴染みのアメリカの超絶粘土作家ブルース・ビックフォードの本邦初公開ドキュメンタリー長編(これもまた壮絶!)と傑作選の三部構成でお届けする大集合!! 白熱のアイドル・オン・ステージも開催! ※協力：CALF
6月7日 日